



第二部 指揮
木村 俊明

大阪教育大学特設音楽課程声楽科卒業。声楽を浦山弘三氏・市来崎のり子氏、指揮法をロベルト ヴリーゲン氏、コントラバスを宮澤敏夫氏・西出昌弘氏に師事。卒業と同時に大阪フィルハーモニー交響楽団コントラバス奏者のオーディションに合格。同オーケストラ副主席奏者として12年間活躍。同団退団後、音楽教育に奉職(元大阪信愛女学院短期大学教授)する一方、ソロや室内楽演奏、合唱指導者のほかオーケストラ指揮活動を開始する。大阪市民管弦楽団、西宮交響楽団、宝塚市交響楽団、近畿フィルハーモニー管弦楽団、交野シティ・フィルハーモニック、アンサンブル コスモリパティなど各地のアマチュアオーケストラを指揮し、マーラー「交響曲第5番」、ブルックナー「交響曲第4番(ロマンティック)」をはじめ、ヘンデル「メサイヤ」、ベートーヴェン「交響曲第9番(合唱付)」やプッチーニ「蝶々夫人(全幕)」などを各地で指揮し、その豊かで明快な指揮が高く評価されている。現在、交野シティ・フィルハーモニック 常任指揮者、東大阪第九シンフォニー合唱団 指揮者、みどりの風 星田コーラス 指揮者、福島区民合唱団 指揮者、合唱団Jo-9 (城東区民合唱団) 指揮者、住之江第九合唱団 in OSAKA 指揮者、サントリー1万人の第九 合唱指導者、大阪市民管弦楽団 顧問。大阪楽友協会会員。



第一部 指揮
越野 保宏

京都教育大学卒。関西二期会オペラスタジオ研修所第35期修了。テノールとして関西二期会他で多くのオペラ公演に主要な役で出演。また合唱指導者としては京都教育大学混声合唱団、インターネットコーラスモモ、Sing in メサイヤ合唱団はじめ多くの合唱団の指導に関わる。また「第九」の合唱指導に奈良県香芝市や広島県尾道市など各地の自治体とも関わる。2015年より城東区「ぶちっとJo-9」を指揮、指導する。文化庁「本物の芸術ふれあい体験事業」や「芸術家派遣事業」などのワークショップに指導者、歌手として参加。これまでに全国の小中学校を200校以上指導し好評を得る。また大阪市の企画「こども・夢プロジェクト」にも参加、ワークショップ及び演奏会を成功に導き、その取り組みの様子は朝日放送「がんばれ！元気ッス」にて放送される。声楽を喜多村彪、饗場知昭、ブルーノ・ダル・モンテの各氏に師事。指揮法を三澤洋史氏に学ぶ。関西二期会会員、宝塚演奏家連盟所属



序の部 舞囃子
水田 雄悟

観世流能楽師シテ方準職分。故水田博の次男。平成6年大槻家(大槻文蔵師)入門。平成17年独立。関西・四国を中心に活動、子供能楽教室にも力を注ぐ。大阪市立榎並小学校「こども榎並座」講師。水田松韻会を主宰。



司会
子守 康範

大阪市出身。慶應義塾大学商学部卒業。ABCラジオ「おはようパーソナリティ-中村鋭一です」を聞き、アナウンサー志望に。高校時代は放送委員会、大学時代も放送研究会に所属。レコード会社でアルバイトしつつ渋谷のDJ喫茶で喋ったり、NHKの子ども番組「600こちら情報部」でリポーターを務める。毎日放送入社後は、スポーツ実況をはじめ報道、情報、バラエティ、などテレビ・ラジオに出演。中東湾岸危機をはじめ海外取材多数。日本民間放送連盟賞最優秀賞を2度にわたり受賞する。商売人だった祖父の死をきっかけに自分史ビデオの事業化を考え独立。MBSラジオ「子守康範 朝からてんコモリ!」は2008年3月31日にスタート。毎朝5時から8時までの生放送は1000回を超える。イースター島からの皆既日食中継を特番化した「子守康範の日食バンザイ!」はギャラクシー賞奨励賞を受賞。平成25年5月2日、自伝マンガ『あなたにありがとう』出版。同年5月3日、河島英五氏から贈られた楽曲『あなたにありがとう』でCDデビュー



ソプラノ
小濱 妙美

東京藝術大学卒業、同大学院修了。畑中良輔、エリーザベト・シュヴァルツコフ、アントニオ・トニーニ各氏に師事。84年よりスイス留学。ドイツ・ニーダーザクセン州立ブラウンシュヴァイク劇場「タンホイザー」エリーザベト役でヨーロッパデビュー「劇場始まって以来の大物歌手誕生」と絶賛される。90年藤原歌劇団「ドン・ジョヴァンニ」ドンナ・アンナ役でデビュー、「蝶々夫人」「ノルマ」「カルメン」「トスカ」「椿姫」等出演。97年新国立劇場開場記念「ローエングリン」エルザ役で絶賛され、「エウゲニオ・オネーギン」「ドン・ジョヴァンニ」「蝶々夫人」「トスカ」等出演。00年よりびわ湖ホールオペラ「ジャンヌ・ダルク」「エルナーニ」「シチリアの夕べの祈り」等ヴェルディ日本初演。04年メキシコで「蝶々夫人」「ルチア」をフランス・スコ・アライサと共演。05年NHKニューイヤー・オペラコンサート出演。06年カーネギーホールリサイタル会場総立ちの大喝采を浴びる。09年新国立劇場「修禅寺物語」かつら役、新国立劇場尼崎公演「蝶々夫人」タイトルロール出演。パヴァロッティ・チャイコフスキーコンクール、シロオオペラ賞等多数受賞。日本音楽コンクール等審査員。京都市立芸術大学教授。



アルト
田中 友輝子

84年「ドン・カルロ」のエボリー姫役でオペラデビュー。「ラ・ジョコンダ」「カルメン」のタイトルロール、「トロヴァトーレ」アズチーナ、「アイダ」のアムネリス、「カヴァレリア・ルスティカーナ」サントウツァ、「仮面舞踏会」ウルリカ、「アドリアーナ・ルクヴルール」ブイヨン公妃、「魔笛」ダーメⅢ、「修道女アンジェリカ」公爵夫人、ベルク作曲「ヴォツェック」マリー、プリテン作曲「真夏の夜の夢」オベロン役他多くのオペラに出演。06年8月、イタリアのプッチーニ・フェスティバルにて「蝶々夫人」のスズキ役で出演。また、第九やオラトリオ等のアルトソロとして活躍する。NHK 新人演奏会出演。第21回なにわ芸術祭新人奨励賞受賞。14年、和泉市文化功労賞受賞。大阪音楽大学大学院歌劇専攻修了。現在、大阪府立夕陽丘高校音楽科非常勤講師。関西歌劇団正団員。堺シティオペラ理事。



テノール
石川 太一

京都市出身。相愛大学音楽学部器楽学科卒業。奈良教育大学大学院修士課程修了。クラリネットを鈴木豊人氏に師事、K.ライスター氏の指導を受ける。大学卒業後、クラリネット、バスクラリネット奏者として演奏活動、また吹奏楽やオーケストラの指導を行うが、奈良教育大学大学院音楽教育専修にて声楽を学び、その後本格的に声楽に転向。「第14回泉の森フレッシュコンサート」において最優秀に選出され「泉の森フレッシュガラコンサート」に出演。「第52回なにわ芸術祭 新進音楽家競演会」において新人奨励賞を受賞。《第九》のテノールソリストや各種演奏会出演等、幅広い演奏活動を展開している。これまでに声楽を福田清美、林 誠の各氏に師事。



バリトン
田中 勉

デビューは「フィガロの結婚」。その後、「コシ・ファン・トゥッテ」「道化師」「ファルスタッフ」等に出演。1990~91年文化庁在外派遣研修員ウィーン国立音楽大学留学。帰国後、「椿姫」「ラ・ボエーム」「リゴレット」「夕鶴」「エウゲニオ・オネーギン」「お蝶夫人」「道化師」「トゥーランドット」等に出演。第22回なにわ芸術祭新人奨励賞、第1回JSG国際歌曲コンクール聴衆特別賞。'99年、大阪府和泉市文化功労賞。2000年、第20回音楽クリティック・クラブ本賞。'04大阪舞台芸術賞本賞。'11「リゴレット」の演唱に対し、文化庁芸術祭優勝賞受賞。大阪音楽大学大学院歌劇専攻修了。現在、大阪音楽大学教授、同大学院主任。関西歌劇団理事。日本シューベルト協会会員。

入場券1000円 2月1日(月)発売開始

●【直接購入】城東区コミュニティ育成事業事務所 ほか協力店

e+ イープラス [PC/携帯] <http://eplus.jp>
【直接購入】ファミリーマート

問合せ・入場券取扱先 **城東区コミュニティ育成事業事務所**

〒536-0005

大阪市城東区中央2-11-16 城東区社会福祉協議会「ゆうゆう」南側外階段から2階へ

TEL.06-4255-6066 FAX.06-4255-6088(日祝休)